2024年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(13水道事業)

水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。

重要施設配水管路の目標設定について教えて！

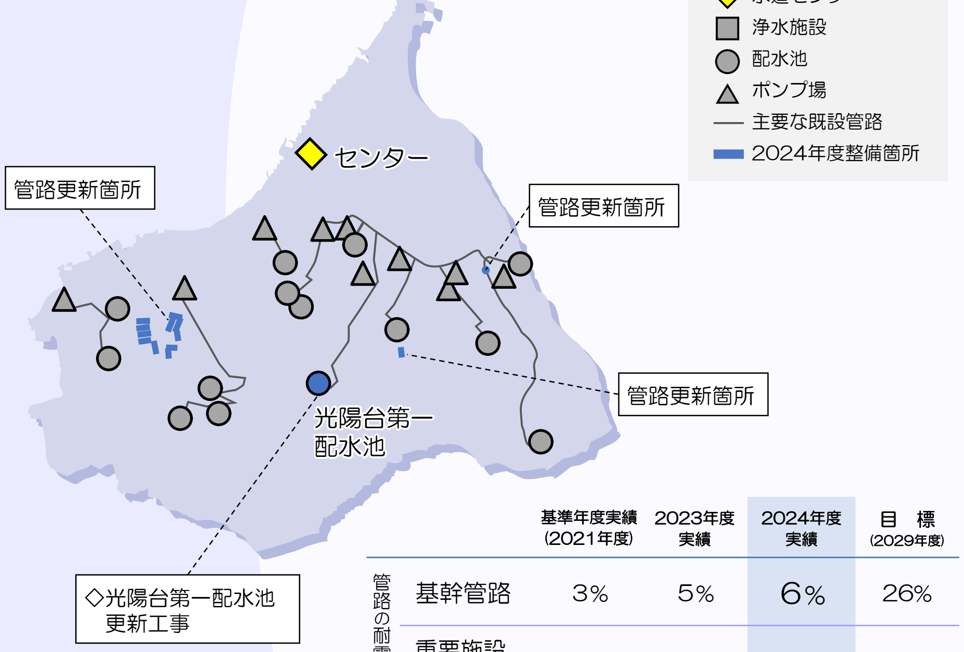
2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

この計画策定に当たり、企業団と統合元団体で協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)。

本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。

■ 阪南水道事業



		基準年度実績(2021年度)	2023年度実績	2024年度実績	目標(2029年度)
管路の耐震管率	基幹管路	3%	5%	6%	26%
	重要施設配水管路※(耐震適合率)	―	17%(37%)	17%(37%)	20%(40%)

※ 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は4.8億円で、主な事業は次のとおりです。

基幹配水池の更新

■ 光陽台第一配水池更新工事

更新時期を迎えた配水池の更新・耐震化を実施しました。更新に合わせて、配水池の規模やポンプ設備の能力の適正化(ダウンサイジング)にも取り組んでいます。

2024年度執行額 115百万円

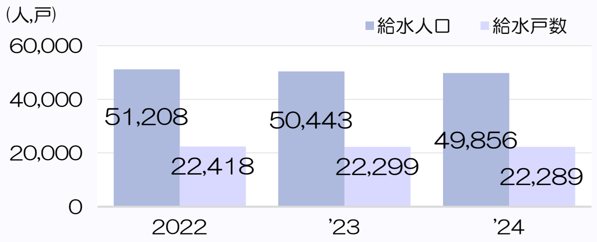
その他の取組

- ■ 4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備を共同で整備しています。
- ■ 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は漏水リスクが高い管路である箱作地区などの更新を実施しました。

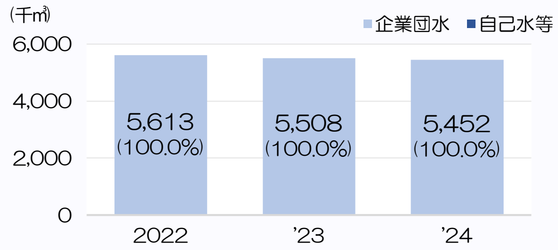
■ 阪南水道事業

給水人口や給水量の推移

給水人口・戸数



企業団水と自己水等の割合



2024年度末の給水人口は49,856人で、前年度と比べて587人(1.2%)減少しています。
また、給水戸数は22,289戸で10戸(0.04%)減少しています。
給水量は5,452千㎥で、前年度と比べて56千㎥(1.0%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

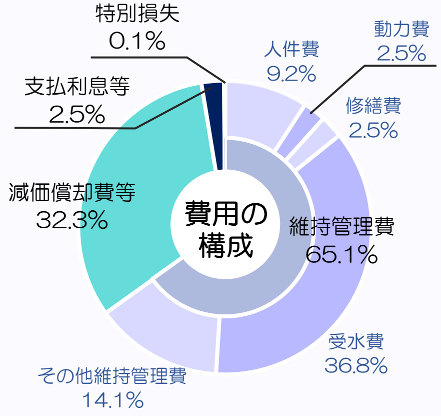
収益的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収　益	1,064	1,058	△ 7
給水収益	927	907	△ 19
長期前受金戻入	103	108	5
その他収入	34	42	8
特別利益	1	0	△ 0
費　用	1,050	1,067	17
維持管理費	685	696	11
減価償却費等	337	344	7
支払利息	27	27	△ 1
特別損失	1	1	△ 0
単年度損益	14	△ 9	△ 24

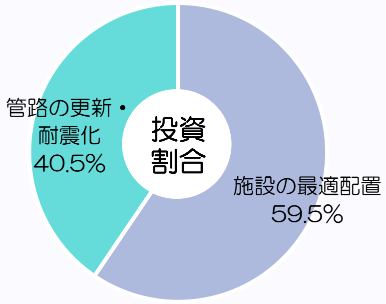
(単位：百万円、税込)

資本的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収　入	345	372	27
企業債	165	245	80
国庫補助金等	147	124	△ 23
その他収入	33	4	△ 29
支　出	752	687	△ 66
建設改良費	589	524	△ 65
企業債償還金	164	163	△ 0
その他支出	－	－	－
収支の差額	△ 407	△ 315	93

＊ 収支の差額については、積立金等で補てん

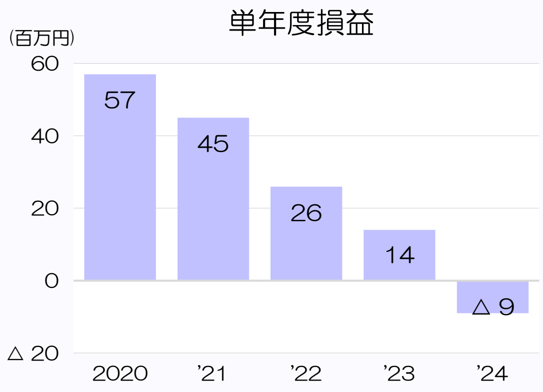
収益は、有収水量の減少により給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると7百万円減少しました。
費用は、修繕費や動力費などの維持管理費の増加や減価償却費等が増加したことにより、前年度と比べると17百万円増加しました。
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ24百万円減少し、９百万円の単年度損失となりました。

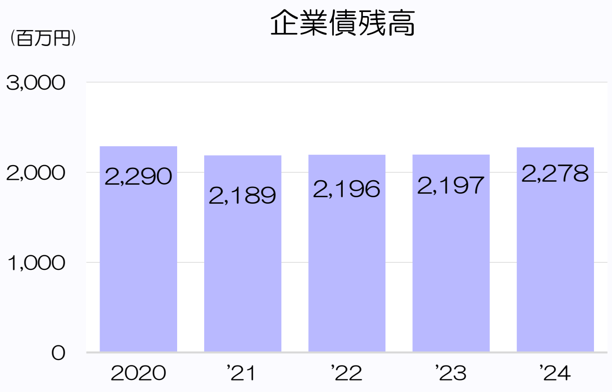


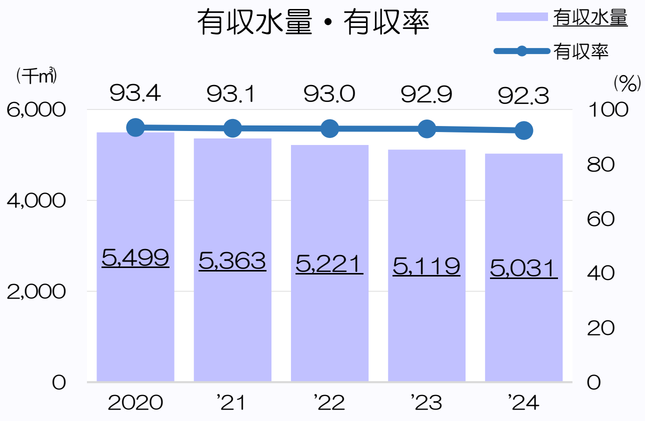


※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

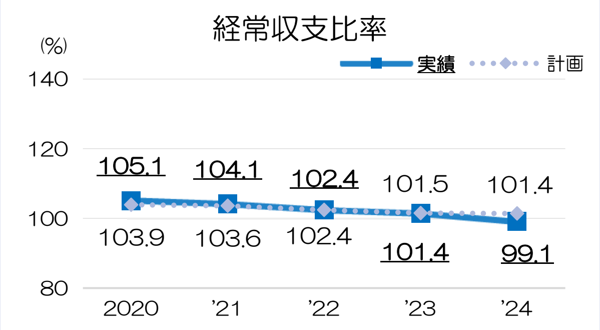






主な経営指標の状況

〇：計画を達成　△：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満)　×：計画を未達成



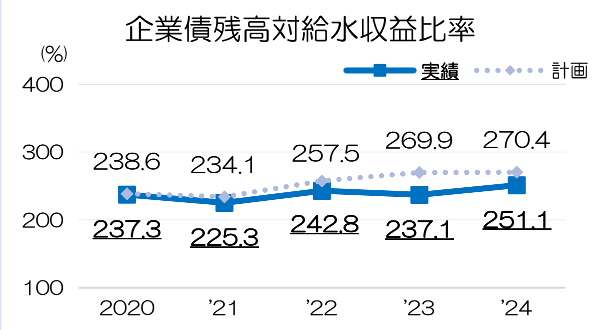
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	〇	〇	〇	△	△

〈算出式〉経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べると、給水収益が減少し、維持管理費が増加したことから、2.3ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値107.5%】



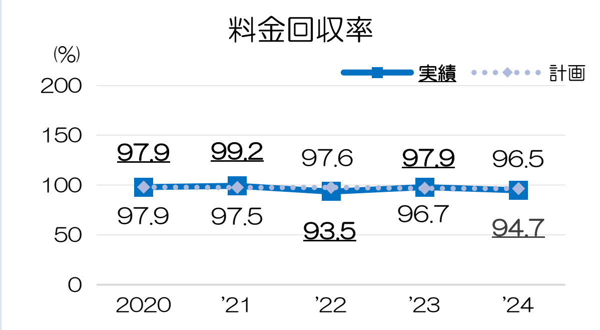
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	〇	〇	〇	〇	〇

〈算出式〉企業債現在高合計／給水収益×100

企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少し、企業債残高が増加したことから、14.0ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値381.6%】



達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	〇	〇	△	〇	△

〈算出式〉供給単価／給水原価×100
(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少し、維持管理費が増加したことから、3.2ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値95.0%】